

**エッセイスト・玉村豊男さんのワイナリーで稼動開始  
世界初のLPガス仕様家庭用燃料電池コーチェネレーションシステム「ENEOS ECO LP-1」**

記者各位

当社(社長:渡文明)は、本年3月1日から商品化を開始した世界初のLPガス仕様家庭用燃料電池コーチェネレーションシステム「ENEOS ECO LP-1」について、6月22日(水)にエッセイストの玉村豊男さんの経営するワイナリー「ヴィラデスト ガーデンファーム アンド ワイナリー」(長野県東御市)に設置完了し、システムが稼動開始いたしましたので、お知らせいたします。

玉村豊男さんからのコメント:

「まさに次世代のエネルギーシステム。これから、クリーンな電気とお湯を作れるのかと思うと、ワクワクし、その先陣を自らきることができて、たいへんうれしく感じています。将来的には、燃料電池で焼いたパンを販売してみたいですね。

5年後、10年後ENEOS ECO LP-1がさらにパワーアップし、広く社会に普及することを願います。」



玉村豊男さんが経営するワイナリー  
「ヴィラデスト ガーデンファーム アンド ワイナリー」で  
稼動を開始したENEOS ECO LP-1

#### 1. ENEOS ECO LP-1について

エネルギー問題や環境問題への関心が高まるなか、クリーンエネルギーの主役として期待がかかる家庭用燃料電池システム「ENEOS ECO LP-1」は、LPガスから水素を取り出し酸素と反応させ電気を作ると同時に、熱を発生させるコーチェネレーションシステムです。総合エネルギー効率が76%と高く、また、温暖化ガスの大半をしめる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量を大幅に削減することに加え、大気汚染や酸性雨の原因となる硫黄酸化物(SO<sub>x</sub>)や窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)をほとんど排出しない「環境対応型エネルギーシステム」であります。本年2月から一般募集を開始したところ、これまでに200件以上もの問い合わせをいただきました。2005年度は、関東1都10県を中心に150台設置する予定です。



ワイン用のブドウ畠

#### 2. 玉村豊男さん宅へのENEOS ECO LP-1設置について

今回ENEOS ECO LP-1が設置されるのは、玉村豊男さん自らが2004年4月から経営するワイナリー「ヴィラデスト ガーデンファーム アンド ワイナリー」。

緑に囲まれた丘の上のワイナリーは、眼下に見渡す上田盆地を蛇行する千曲川と、遠くに北アルプスの稜線を望むことができます。このワイナリーの他、ワイン用のブドウ、ハーブ、西洋野菜の栽培も行っており、年間約3万人もの人々が訪れます。これから、「ヴィラデスト ガーデンファーム アンド ワイナリー」の電気やお湯をこのシステムでまかなう予定です。尚、今回は、6月6日(日)の女優・高樹沙耶さん、6月13日(月)プロスキーヤーの三浦雄一郎さん宅に続いての設置となり、長野県では始めての設置です。今後は、冒険家の風間深志氏などがENEOS ECO LP-1の設置を予定しています。

以上



緑に囲まれたワイナリー

### ご参考

玉村豊男(たまむら・とよお) プロフィール



1971年東京大学仏文科を卒業。在学中にパリ大学言語学研究所に2年間留学。通訳、翻訳業をへて、文筆業へ。1977年に『パリ 旅の雑学ノート』、1980年に『料理の四面体』を刊行してエッセイストとしての地歩を築く。旅と都市、料理、食文化、田舎暮らし、ライフスタイル論など幅広い分野で執筆を続ける。1983年より8年間、軽井沢町で生活。1991年より長野県東御市在住。ワイン用ブドウ、ハーブ、西洋野菜を栽培する農園ヴィラデストを経営。2004年4月同所に「ヴィラデスト ガーデンファーム アンド ワイナリー」を開いた。

URL:<http://www.villadest.com/>



玉村豊男さんとENEOS ECO LP-1

## ENEOS ECO LP-1 製品概要

### 1. ENEOS ECO LP-1の仕様

(1) 定格発電容量	750W
(2) エネルギー効率	発電効率34%(LHV <sup>*1</sup> ) 熱回収効率42%(LHV <sup>*1</sup> )
(3) 貯湯槽容量	200リットル
(4) 燃料	LPガス

\*1 LHV:Lower Heating Valueの略称。低位発熱量。燃料の持つ発熱量から、燃料の燃焼によって生じる水蒸気の凝縮潜熱を差し引いた発熱量のこと。



左:発電ユニット 幅1.0m 高1.0m 奥行0.45m  
右:貯湯ユニット 幅0.75m 高1.9m 奥行0.44m

### お問い合わせ

ニュースリリースに関するお問い合わせ先	広報部広報グループ 03-3502-1124
製品に関するお問い合わせ先	FC事業1部FC企画グループ 03-3502-9243